

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：6年2月1日

事業所名 コペルプラス 箕面粟生外院教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		利用人数に応じて、机の配置や活動スペース等を工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切である	4		プレイルームでの活動や運動療育では、指導員数を増加し、安全に配慮しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		教室のドアに動物の名前と絵を貼り、わかりやすくしています。 利用者の特性に応じて、各部屋の療育環境を変えています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃してお迎えすることを心掛けています。 お子様用の備品（机、椅子、補助便座、踏み台等）を使用しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		全職員で、朝礼やカンファレンスで実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		毎年1回事業所評価を実施しています。	

				保護者からご意見を頂いた際には、迅速に対応しています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	事業所評価は、コベル公式ホームページの当教室のページで公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	他事業所や関係機関から見学に招くことや研修会に参加し、意見を頂いています。	コベルプラスでは、第三者評価を実施していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	定期的に幅広い分野の研修を受けています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	半年に1回、個別支援計画を見直しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	発達段階観察シートや発達検査等を活用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	個に応じた目標設定を行っています。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	課題や本人及び家族のニーズを十分に把握した上で、療育を実施しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	基本の活動プログラムは本部が作成していますが、個に	

				応じた課題を加えることは全職員で立案・共有しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	利用日ごとや利用月ごとに、教材や課題や提示の仕方等を変更しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	コペルプラスでは、個別療育と集団療育の併用を推奨しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	毎日朝礼を必ず実施し、支援の内容や役割分担等を確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	毎療育ごとに、引き継ぎ記録を作成し、共有しています。必要に応じて、カンファレンス等で話し合っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	記録に記載することと、パソコンデータを入力することを毎回実施しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	全職員で定期的実施しています。	
関係機関や保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	児童発達支援管理者が参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	児童発達支援管理者が中心となっ	

護者との連携関係機関や保護者との連携				て、全職員で連携を行っています。	
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		現在は、医療的ケア児や重症心身障がい児の受け入れを行っていません。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		現在は、医療的ケア児や重症心身障がい児の受け入れを行っていません。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	保護者から要望がありましたら、幼稚園・保育園との連携や情報共有等を実施しています。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	保護者から要望がありましたら、就学先である小学校等との連携や情報共有等を実施しています。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	専門機関を訪問し、見学や助言を頂く機会を設けています。また、大阪府や箕面市の連絡会や研修会に参加しています。	
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		2023年度は、交流する機会がありませんでした。来年度以降、検討します。	

	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	定期的に、大阪府や箕面市の会議や連携、研修等に参加しています。	
--	---	---	---	---------------------------------	--

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		毎回の療育ごとにフィードバックを行い、成長を確認し課題を共有しています。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4		教室内では、4月と12月に実施しました。コペルが主催しているネット上でのセミナーは、定期的実施しています。	来年度以降も、教室内で開催する意向です。実施月は未定です。ネット上でのセミナーを引き続き、定期的にご案内します。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に行っています。教室内の本棚に配置して、いつでも閲覧することが可能です。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		保護者からのご意見を元に、個別支援計画を作成し、保護者に同意を頂いています。その複写を保護者に提供しています。	
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		支援計画の見直し時期や、定期的に面談を実施しています。希望があれば、その都度相談を受けています。毎回のフィードバックでも、保護者の相談に乗るようにしています。	

35	<p>父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p>	4		<p>保護者会やペアレントトレーニングで、交流する機会にしました。また、療育中や前後に、保護者同士でお話しすることが可能です。</p>	
36	<p>子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している</p>	4		<p>相談、苦情対応の窓口を設置し、迅速かつ適切に対応するように心がけています。</p>	
37	<p>定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している</p>	4		<p>定期的に、教室LINE、教室Instagram、教室ブログ、リタリコ発達ナビ等で情報を発信しています。</p>	<p>今後も、LINE やInstagram等で情報を配信する予定です。 会報等の紙面は現在発行していませんが、今後検討します。</p>
38	<p>個人情報の取扱いに十分注意している</p>	4		<p>書庫やデスクの施錠、パソコンのセキュリティ等で情報を守っています。 全職員が個人情報の取り扱いに十分に注意しています。</p>	
39	<p>障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている</p>	4		<p>全職員が研修を受けた上で、適切な関わり方をしています。</p>	
40	<p>事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている</p>	4		<p>無料体験レッスンは、外部のどなたでも随時受け付けています。</p>	<p>2023 年度は、イベント等を開催して招待することを見送りました。来年度以降、検討します。</p>

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		職員間で定期的に訓練を行っています。保護者に対しては、文書で緊急時の対応についてお知らせしています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		2023年度は、6月と11月に、一部の時間帯で避難訓練を実施しました。	来年度も、6月と11月に実施する予定です。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時に、アセスメントシート等を通して保護者に確認しています。必要に応じて、個別に対応しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		食物アレルギー予防の観点から、療育場所での飲食を禁止しています。 (お茶等の水分補給や授乳は除く。)	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハットがあった際には、記録を作成し、共有と再発防止を徹底しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		毎年、研修会を実施しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		毎年、研修会を実施しています。 契約時や個別支援計画更新時に保護者に説明し、	

				同意を得ています。	
--	--	--	--	-----------	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。